

未就園児の親子登園

さくらんぼ通信

R2.11.10

次回は、12月15日(火)・16日(水)です！

♪ さくらんぼさんは楽しい遊び！ お家の方は園長育児講話 ♪

受付 9:45～10:00 遊戯室 **終了** 11:15 頃

持ち物 シール帳・名札・水筒(水分補給)

・参加費 50 円・親子共うわばき



☆ お子さんが遊ぶ傍らでお家の方向けの園長による育児講話を行います。皆様からお寄せいただいた育児の悩みにベテラン母でもある園長がお答えします。☆

☆ 園長への質問募集中！ [さくらんぼ連絡票] に書いて、是非お知らせください！ ☆

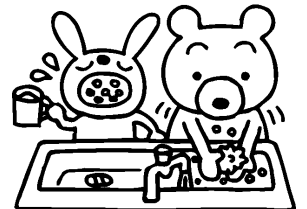
※ウイルス感染状況によっては急遽中止する場合があります。朝、園 Web サイトを必ずご確認の上ご参加ください。



今後の日程>>>>> 『さくらんぼ』も残すところ12月と1月19日(火)のお楽しみ会の2回のみとなりました。寒い時期ですが、最後まで是非ご参加くださいね。



寒くなり、新型コロナウイルスがまたまん延し始めています。インフルエンザの時期ですし、マスクのできないお子さんは特に、外から帰ったら「うがい・手洗い・消毒」をしっかりしましょう。☆まだインフルエンザの予防接種をしていない方は、早めにしておきましょうね！注射は嫌いだと思いますが、がんばってね！



さくらんぼ
参加費 50 円
領収しました。

令和2年11月10日
11月11日

認定こども園
慈光幼稚園



ご連絡・お問い合わせは…

じこうようちえん
認定こども園 慈光幼稚園

飯田市 じこうようちえん で検索

〒395-0016 飯田市伝馬町2-31 ☎24-0415

Fax: 24-6415 E-mail: email@jikoh-y.com

担当: 高松里子
(不在の場合はお言付けください)

めっきり寒くなりました。暖かいお家の中がいいな～と思う季節です。お家で過ごす時間が長くなる中で、楽しい絵本との出会いをしていきましょう。絵本は体験できないことも教えてくれます。言葉を覚えていく伸び盛りのお子さんにとっては、とても大切なものですね。



- 子どもと病気 -



11月に入ってから園では発熱のお子さんが多くなってきています。皆さんは体調いかがですか？これから、ウイルスがまん延する時期に入りますね。就学前後まではいろんな病を次から次へともらってくるので気が抜けません。

今年はコロナ禍で、受診控えをしている方も多いようです。でも、お医者さんは感染をしない対策をしっかりとらしていらつやいます。早めの治療が必要な病もありますので、受診を迷うくらいなら見ていただいた方が良いでしょう。

さて、本題ですが、お医者様にかかるのって、ちょっと緊張しませんか？何を言われるのか不安で…という方もいらつやると思います。症状の説明がしどろもどろになってしまって先生をイライラさせてしまった…という方もいらつやるのではないのでしょうか。

…では、お医者様にかかる際どんなことに注意したら気持ちよく診てもらえるのでしょうか？

→まずは、親が体調の変化を端的に説明できることが大切なのではないのでしょうか。

お医者様はそれまでの症状と診察結果から病名を導き出します。そのため、「いつから」「どのような症状だったか」「体温の変化」等を詳しく知りたいのです。

お子さんの体調が悪くなったなら、走り書きでもいいから体調に変化が現れた頃からの

日時・症状・体温・便や尿の状況や回数

を書き留めておくと良いでしょう。メモがある事で端的に症状を伝えることができますし、正確に症状を伝えられることで、誤診を防ぐことにもつながります。

診察後も、完治するまでは症状メモをつけておくことをおすすめします。再度病状が悪くなった際に役立ちます。

お母さん方は「私はまだ若くて記憶力もしっかりしているから大丈夫！」と思うかもしれませんが、お子さんの体調が悪い時、お母さんは忙しくなるもの。ちょっと試してみてください。

◎予防接種も遅れないように受けましょう！



- 子どもと絵本 -



“読書の秋”、小さいお友だちも大人に負けずに本とのいい出会いがしたいですね。

子どもが好む本は“絵本”ですね。

子どもたちって絵本とどのようにかかわっていくのでしょうか？

【親子編】

- 膝の中で読んでもらう
- 向かい合って1対1で読んでもらう
- 布団の中で読んでもらう
- きょうだいと一緒に読んでもらう 等

【ひとり編】

- 自分で選ぶ
- 自分でめくりながら見る
- 独り言を言いながら見る
- 文を覚えていて言いながら見る
- 自分で読む 等



【みんなと一緒に編】

- クラスで読んでもらう
- 友だちと1冊の本を見る
- 話を覚えてごっこをする 等

この様に様々なかかわり方があります。この姿は絵本だから見られる姿なのです。小さい頃に1冊の絵本と様々なかかわりをして、ぼろぼろになるまで楽しんだお話は、心の中に浸透し、そのヒトの好みや考え方に反映されていくように思います。また、絵本と深くかかわり思考力や想像力を働かせる経験をすることで、物の見方が広がるのではないのでしょうか。幼少期に絵本に触れる機会が多かったお子さんは、小学生以降の学力にも好影響があるという調査結果もあるようです。

絵本を沢山手にするのもいいけれど、親子で触れ合いながらお気に入りの絵本を何度も繰り返し楽しむ姿も大切にしたいですね。